
20号

北海道がんセンターたより

平成17年11月発行

独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター

〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2丁目3-54 TEL 011-811-9111

□ ホームページ <http://www.sap-cc.org>

編集発行人: 山下 幸紀



北海道がんセンターの理念

私たちは、国民の健康で幸福な生活のため、最新の知識と医療技術をもとに、良質で信頼ある医療の提供に努め、特に「がん克服」に寄与することを目指します。このため、

- 常に、医療の質と技術の向上を目指します。
- 研究、教育研修を推進し、医療・医学の発展に寄与します。
- 患者さんの権利を尊重し、誠実な医療を実践します。
- 自主自律、創意工夫の精神で病院運営に当たります。

循環器科トピックス

— 薬物溶出性ステントと心臓再同期療法 —



循環器科医長 竹中 孝

当科では心臓疾患、高血圧、代謝性疾患（糖尿病・高脂血症）などを扱っており、緊急を要する急性心筋梗塞や重症心不全は救命救急センターで24時間常時受け入れています。診療の中心は虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）で、冠動脈の狭くなったところを手足の血管から挿入したカテーテル（細い管）を用いて治療する経皮的冠動脈形成術は1986年から行っています。昨年は115例にこの治療を施行し、待機的に行った70症例では成功率97%であり、死亡・緊急手術・心筋梗塞などの重篤な合併症はありませんでした。緊急症例ではショック状態などの重症例が多く、成功率は87%にとどまりましたが、急性心筋梗塞37症例の救命率は92%でした。

カテーテル治療では、多くの場合ステントという金属性のメッシュを冠動脈に留置しますが、これまでは約20%の症例で1年以内に病変部が再び狭くなってしまいました（再狭窄）。循環器領域の最近のトピックスとして、今年の夏からこの再狭窄を抑えるお薬を表面に塗ったステント（薬物溶出性ステント）が使用可能となったことが第一に挙げられます。当科でも待機的症例には積極的にこのステントを用いており、これまで約半年後の確認造影を施行しえた40例では1例も再狭窄を認めていません。ステント内に血栓ができてしまうのを予防するために長期に

併用する薬剤の副作用など、問題がないわけではありませんが、ステント治療を受ける患者さまにとっては大きな福音と言えます。

もうひとつのトピックスとして、対象となる患者さまは多くありませんが、重症心不全に対する心臓再同期療法（両室ペーシング）が今年の春から施行可能となりました。これは心臓の動き（収縮）が非常に悪く、しかも心臓内の興奮の伝わり方が遅いため全体が同時に収縮していない（例えば前側の壁が収縮し終わるころに後ろ側が収縮し始める）場合に、ペースメーカーを用いてほぼ同時に収縮するようにするものです。これまでのペースメーカーは主に脈拍が遅くなる、あるいは心臓が止まってしまうのを防ぐものでしたが、両室ペーシングでは心臓の働きを改善することが可能です。当科では昨年いち早くこの治療を行う施設認定を受けました。これまでこの治療を行った患者さまは心不全のために入院を繰り返す2名だけですが、入院回数が減り経過は良好です。

さらに当科ではこの春より旭川医大の協力で不整脈に対するカテーテル治療（根治療法）も開始しました。これからも、循環器領域の病気全てにわたって患者さまのニーズに答えられるよう努力してゆく所存です。

Contents もくじ *****

循環器科トピックス — 薬物溶出性ステントと心臓再同期療法 —	循環器科医長 竹中 孝	1
インフルエンザの予防について	感染対策室 一戸真由美	2
診療費について	企画課 豊島 洋	3
『いきいき福祉健康フェア』に北海道がんセンター 初出展	管理課	4

インフルエンザの予防について

感染対策室 一戸 真由美

今年もインフルエンザの季節がやってきました。インフルエンザは感染力が非常に強く、ふつうの風邪よりも重症化しやすいため注意が必要です。今回は、インフルエンザの予防について、簡単にお話しします。

インフルエンザの症状

インフルエンザは、毎年11月から4月にかけて流行します。のどの痛み、鼻汁などのかぜ症のほか38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強いのが特徴です。

インフルエンザの感染経路

インフルエンザは、主に咳やくしゃみなどの飛まつによってうつります。その他、鼻水やつばに触れた手→物品→手→鼻・口、という経路で接触感染することもあります。

インフルエンザの予防

● ワクチンによる予防：インフルエンザの予防には、ワクチンの接種が有効です。ワクチンを接種すると、接種しなかった人よりもインフルエンザに罹りにくくなり、罹ったとしても軽症で済みます。小児や高齢者、呼吸器・心臓などに慢性の病気を持つ方がインフルエンザに罹ると重症化しやすいため、ワクチン接種が特に勧められています。当院では、小児科および入院中

の患者さまと職員に対し、予約の上ワクチン接種を行っています。成人の外来患者さまに関しては、保健所・保健センターまたはお近くの医療機関にお問い合わせください。

- 飛まつ感染の予防：インフルエンザに罹っている人がマスクをして飛まつを飛ばさないことが、最も有効な予防策です。咳やくしゃみ・発熱などの症状のある方は、表1を参考にして、他の方にうつさないようにご配慮ください。当院では、正面玄関と夜間救急玄関の2ヵ所にマスクの自動販売機を設置しておりますので、ご利用ください。
- 接触感染の予防：ウィルスの付着した物品（つり革やドアなど）に触れたとしても、その手で自分の鼻や口に触れなければうつりません。帰宅時などには、うがい・手洗いをして、ウィルスの侵入を防ぎましょう。
- その他：のど粘膜が乾燥すると防御機能が低下するため、室内は適度な湿度（50～60％）に保つとよいでしょう。ただし、加湿器は細菌やカビの温床になりやすいため、清潔に管理する必要があります。免疫力が低下した患者さまの場合、健康な人には影響のない程度の菌でも肺炎の原因になることがあります。そのため、当院の病室では加湿器の使用を制限しております。のど粘膜を保湿するには、マスクの着用も有効です。

表1 呼吸器感染症を予防するためのエチケット

咳・くしゃみ・鼻水・発熱などの症状がある方は、以下の対策にご協力ください。

- ・咳やくしゃみの時はティッシュペーパーやハンカチで口と鼻をおおってください。
- ・使用後のティッシュは、できるだけふたに触れないようにゴミ箱に捨ててください。
- ・口をおおったり鼻をかんだ手は、できる限りすぐに洗ってください。
- ・風邪のような症状がある方は、マスクをしてください。



診療費について

企画課 豊島 洋

皆さんが病院を受診した時に支払う料金、いわゆる診療費について少しお話をしたいと思います。

健康保険と診療費

外来にみえられた時や入院される場合には、必ず健康保険証を窓口に表示します。また、保険証と一緒に提出していただくものに、老人保健や特定疾患及び重度身体障害者などの受給者証や食費減額認定証などがあり、これらに基づいて診療費を計算し、自己負担分が請求されます。なお、健康診断や勤務先での仕事・通勤途中での災害などによる怪我や病気については健康保険では取り扱いません。診療費は基本料（初診料など）や薬、検査、レントゲン、手術など病院で診察したすべてのものを併せて計算しますが、診断書類や特別室の利用並びに初診時に紹介状を持たない方が支払う「特定療養費」は自費になります。保険で扱うものは基本的には健康保険法によりますが、それぞれの料金については診療報酬点数表で定められていますし、薬や注射などは薬価基準で決まっています。また、基本料には加算ができたり通減しなければならない事項が通知できられています。

還付制度と委任払

こうして計算された料金が皆さんに請求されます。請求される金額は老人保健法や公費などによる定額を除いてかかった費用の3割がほとんどですが、病院への支払い後に保険者へ申請すれば還付される制度があります。これには国民健康保険と社会保険（政府管掌）が該当し、自己負担限度額以上の金額が返還されるというものです。また当院では各市町村の国民健康保険や一部の国民保険組合に対して、委任払いの手続きを行っています。この委任払いとは、請求された金額のうち自己負担限度額以上については、直接病院から保険者へ請求するというものです。通常は請求された金額を病院へ支払い、ご自分が保険者へ手続きをして限度額以上を還付してい

ただくこととなりますが、一度での支払いが高額である場合の負担はたいへんなものとなります。それを軽減するというのが委任払いです。入院はもちろん、外来でも同月同じ診療科で合算して限度額を超えればおおむね委任払いは可能となります。限度額は患者さまによって異なりますので私共から保険者へ確認いたします。国民健康保険のみの実施（実施していない市町村・国保組合もあります。）ですがお気軽にお申し出ください。

Q. 初診時の特定療養費について

先にでてきた、紹介状をもたない時に支払う「特定療養費」とはどんなもの？

A.

平成9年に当時の厚生省通知により、病院や診療所の機能の分担をはかることや、連携を促進することを目的として、患者さんが初診の時に他の病院などからの紹介状を持たないで200床以上の病院を直接受診したときは、その病院は患者さんより「特定療養費」として初診に係る特別な料金をいただくことができると定められました。

当院は一般病床数520床ですのでこの通知に該当し、現在は当院に紹介された患者さんの割合などを基準として2,625円(内消費税125円)をいただいております。なお、救急車で搬送された場合や、公費負担の受給患者さんなどはこの料金はかからないこととなっています。

寒い季節に入りました。ご自愛のほどお祈りいたします。



